

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 29年 10月 1日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104134
法人名	医療法人 春風会
事業所名	グループホーム はるかぜ 滝の神 2F
所在地	鹿児島市 吉野町 1044-9 (電話) 099-243-2268
自己評価作成日	平成 29年 10月 1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年11月6日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様が安心して、和やかに末永く生活して頂ける環境造りに職員一同取り組み、利用者様の個性や思考を尊重していく為に利用者様と御家族のご要望に耳を傾け、可能な限り取り入れて行くようにしています。また、充実した個別ケアを行う為に利用者様一人ひとりの心身状況を職員間での情報共有を行い、ご本人の生活の質を向上させる為には何が必要かを常に考え、話し合いながら介護の方向性を決めて接しております。他には季節の移り変わりを実感して頂くために、敷地内には小さな菜園を設けてその季節の旬の食材を提供しております。また、近隣の保育園との交流を図り、園児と利用者の触れあう機会を設け、双方の楽しい時間を作っています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝申し送り時に全員で理念を唱和する事により、理念の再確認とそれに沿ったケアが出来る様に心掛けている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	行事の際には近所の保育園の子供達をお招きし、運営推進会議は町内の方々に参加を促す等、地域との付き合いを続けるようにしている。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	町内会長へ勉強会等の提案をしているが、実現されていない。道路から見える玄関に認知症サポーターのポスターと相談受付の掲示をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議に参加頂いたご家族からの意見を職員ミーティングの場で報告し、今後の方針を話し合う事でサービスの向上に活かせるようにしている。</p>		
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>長寿あんしん相談センターには運営推進会議へ参加して頂いているが、その他の業種には必要事項のみの連絡となっている。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束による弊害について全員が理解出来るようにマニュアルを直ぐ確認出来る所に置いてある。また、2ヶ月に1回の身体拘束委員会、毎月のミーティングにおいても身体拘束をしない事を前提にしたケアについて話し合いをしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止マニュアルをいつでも確認出来る所に置いてある。更に内部研修も行いながら職員全員が虐待のないケアについて、理解と実施をしていけるように心掛けている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度については利用されている方が居るため研修を行っているが、日常生活自立支援事業については、まだ学ぶ機会が少ない状態である。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の際は入居日以前に時間をかけてゆっくりと説明する事で納得して入居頂ける様にし、退居の際も早めに説明と相談する時間を設けて不安を持たれる事が無い様に心掛けている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議をはじめ、意見箱や個人ノートと来居時など、ご家族や利用者様がホームに意見を伝える機会を増やし、その意見を受け止めて検討しながら運営を進めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	ミーティングでは職員の思いや意見を伝える時間を設けており、管理者はそれに対する返答を代表者に確認し職員に伝えている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	資格を取得する事でスキルアップし給与が上がり、各自向上心を持って仕事ができる環境になっている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設内の研修で職員の介護に対する知識や力量を見ながら、外部での研修に参加し易い様に研修案内や当日を出勤として扱い、研修費用の助成も積極的に行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	本部での研修が他の事業所と合同で行われており、交流し易い環境となっている。また、外部の研修に関しても参加を勧める案内がよく届けられている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居までの間にご本人とご家族で来所して頂く事で、不安や要望を直接聞くことが出来る様に心掛けていますと共に、ご本人が職員や他利用者様と事前に交流出来る機会を設けている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族からの情報提供を受けながら、ご家族の持つ不安や要望を引き出す事が出来る様なコミュニケーションが取れる様に心掛けています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	アセスメントの情報を分析し、優先度の高い支援を見極める事が出来る様に広い視野で見る様に心掛けています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人が出来る事、やりたい事を見極め、それを実現し易い様に環境を整える事で、ご本人が主役の生活をする事が出来る様に心掛けています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族との交流が絶えない様にケアプランにも組み込みながら働きかけも行っているが、参加の難しいご家族には参加し易くなる様な提案や働きかけを工夫していかなければならない。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族の協力が得られる方については関係が継続されているが、難しい方も多く、関係継続を出来る様な提案や働きかけを行っていく必要が有る。		
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ホールでの利用者様同士の様子観察と、ご本人の意見を聞きながら交流し易い方が近くに居る様に座席を工夫したり、ソファーを利用してコミュニケーションを取りやすい様に工夫している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居された方でもご家族の許可が頂ければ面会に行かせて頂き、お話しを聞く事が出来る様心掛けており、退居された方が再度入居される事もある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人が自分の思いを伝えやすい関係を築ける様にコミュニケーションを密に取り、生活歴やご家族の意見を取り入れる事で意向の把握が出来る様に努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	情報提供書をはじめ、ご本人やご家族の話を聞き、それをアセスメントに反映する事でこれ迄の生活歴や経過等を把握出来る様に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の記録だけではなく、特変等が有った場合は、職員間の連絡ノートにも記入する事で職員全員が把握を出来る様に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のカンファレンスと3ヶ月に1回のモニタリングだけでなく、必要な時にはご家族へ連絡を取る事で、より良い介護計画を立てられる様にチームで取り組んでいる。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の記録については今後改善していく予定ではあるが、申し送りノートや受診ノートでの情報共有がなされているので、記録方法についての勉強会を行う予定である。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時その時に合わせた支援を心掛けているが、サービスに関してはフォーマルサービスを利用する時は退居の時のみとなっている為、今後改善していく予定である。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会に加入したり近所の保育園との関わりが有るが、ただ交流するだけの状態であり、もっと活動範囲を広げると共に交流方法についても考慮する必要があると思われる。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医についてはご本人とご家族の希望を最優先にしており、受診や電話連絡にて病院との連携を取り、適切な医療を受ける事が出来る様に支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職場内に看護師は居ないが、病院の看護師が相談を受ける体制を整えている為、気づきや異常を直ぐに看護師に相談し適切な対応や受診を受けられる様になっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際は入院時に情報提供を行った上で、早期に退院出来る様をお願いし、病院からの情報を受けるだけではなく、積極的に情報収集を行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居の際から終末期に向けた方針の話を行い、状況が変わる毎にご家族に相談しながらご本人にとって一番良い方針を立てて支援を行える様に心掛けている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	応急処置や初期対応の訓練を定期的に行っている。また、内部研修でもそれに準じた勉強を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>全ての災害に対する避難訓練を行っており、全職員がスムーズに対応出来る様にしているが、地域との協力体制については今後改善していく必要がある。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様は人生の先輩で尊敬する方々である事を常に念頭に置いた上で対応する様に心掛け、人格を尊重し、プライバシーが保てる様に支援している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人が希望を表せる事が出来る様にコミュニケーションを密にすると共に、表情や動作からも考えを汲み取りながら自己決定が出来る様に心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様には自由に過ぎて頂ける様に心掛けており、ご本人の気分によってやりたい事が変わった際にも柔軟に対応する様に心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	衣類はご本人が着たい物を着用して頂き、身だしなみもご本人が希望するように整えられる様に支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の際にはご本人の持っている能力に合わせた支援を行いながら、楽しく食事を摂る事が出来る様に献立等を工夫している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取量が不足していると思われる方に関しては、ご本人が好む物での補食する事で状態に応じた支援を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアの支援や介助を行いながら、必要に応じて歯科の診察を受ける事が出来る様にしていく。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	時間毎の声掛けも行っているが、ご本人の排泄パターンを理解出来る様に努めて、ご本人のしたい気持ちを見逃す事が無い様に心掛けている。また、必要に応じて専門医の診察を受ける事が出来る様にしていく。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	職員全員が便秘のもたらす弊害について理解している為、水分量や運動量が不足していると思われる際は直ぐに補水出来るよう体制がとられている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	最低週に3回入浴して頂ける様に入浴の曜日を決めているが、ご本人の希望があれば入浴日や時間が違って入浴を楽しむ事が出来る様に支援している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室にはご本人のなじみの物を持って来て頂き、過ごしやすい空間作りを、ご家族も交えて作り出せる様に支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬局の居宅管理指導を利用し、疑問や不安を医師や薬剤師に直ぐに相談が出来る環境を整え、内服薬の説明書が直ぐ確認できる位置に配置している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご本人の出来る事したい事が実現出来る様に環境を整えながら、嗜好品についても医師からの制限が有る場合以外は、ご本人の希望に沿う事が出来る様に対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	年に数回の全体外出だけではなく、ご本人の希望が有ればご家族や地域の方々の協力を得て外出を楽しむ事が出来る様に支援している。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人で金銭を持たれている方も居るが、使う事に関しては現在とところ行われていない。今後改善していく予定である。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご本人の希望が有れば連絡しても良いかをご家族に確認しており、ご本人が希望する時に連絡を取る事が出来る様にしている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間には、その季節毎に利用者様と一緒に制作した物をディスプレイする事で居心地の良い空間作りに努めている。また、温度や湿度のチェックもこまめに行い、快適な生活を送って頂ける様に心掛けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホールでの座席は気の合った方々で過せるよう配慮し、他の方との会話を希望の際は座席を移動している。また、ソファを準備しているので独りになりたい時は自由に使用して頂いている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご本人が馴染みのある使い慣れた物を、ご本人と共に配置していき、居心地良く過ごして頂ける環境作りを心掛けている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>廊下やトイレ等には手摺りが設置してあり、安全に過して頂ける様になっている。また、場所等の理解がし易い様に貼り紙や絵での掲示をしている。</p>		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない